

そのギモしお答えします

先月号に続いて今月も本願寺新報の記事を紹介いたします。
(全文そのまま)

過去帳が
位牌の端に
追いやられ

ありやまずい
大きな遺影
弥陀かくし

腹減った
ばあちゃんお供え
さげていい

お仏壇編

「私の依りどころ」 確認する場所

皆さんはご自宅のお仏壇のお飾り(荘厳といいますが)自信ありますか? 「自信はないけど自己流でもOKでしょ」という強気のアナタも一緒に考えてみませんか。

たとえば、ご家庭のお仏壇を拝見すると、ご本尊が遺影や位牌で隠れてしまっていたりすることがあります。故人を慕う気持ちは尊いですが、お仏壇が「故人壇」や「先祖壇」となっていては、本来の意味を見失ってしまいます。お仏壇は「仏さまを安置する壇」です。浄土真宗の仏さま、ご本尊は阿彌陀如来(南無阿彌陀仏)です。迷える私たちを救わずにはおられないと、常に寄り添い、はたらいてくださっている阿彌陀さまをお敬いし、安置するお仏壇は、日々の生活の場である家庭において「私の依りどころ」を確認する大切な場所といえるでしょう。



▲ ヒゴタイの花です

「それならお仏壇はいらない。私の人生に迷いなどない」と、またまた強気なアナタ。本当にそれは、「迷いなき人生」でしょうか。

仏教を開かれたお釈迦さまは、私たちは老・病・死に代

表される「苦しみ」を背負って、誰一人として、その苦から逃れることはできないのが真理である、と明らかにされました。たまたま今は元気で迷いがないという人も、そうでない日が必ずやってくるのです。お釈迦さまは、苦しみを悩み続ける私たちが、阿彌陀さまのほたらきである「南無阿彌陀仏」のお念仏によって、仏となってお浄土に生まれることができる、「迷いの解決の道」を示されました。その阿彌陀さまを安置するのがお仏壇ですから、「私の依りどころ」を確認する大切な場所といふのです。

遺影はお仏壇の中ではなく、粗末にならない場所に置いて故人を偲ぶのが望ましいでしょう。位牌は浄土真宗本願寺派では用いませぬ。過去帳に故人の法名や俗名、忌日を記して、お仏壇のご本尊を隠さない場所などに置きます。また、お供えを仏さまからの「おさがり」と有り難くいただく心も大切にしたいものです。

法語の世界

《原文》

世間へつかふことは、仏の物をいたづらにすることよと、おそろしく思ふべし。さりながら、仏法の方へはいかほど物を入れ、てもあかぬ道理なり。また報謝にもなるべしと云々。

〔蓮如上人御一代記聞書〕二百二十五

《現代語訳》

仏のおかげで与えられたものを世間のことに使うのは、尊いお恵みは無駄にすることであると恐れ多く思わなければならぬ。けれども、仏法のためであれば、どれほど使っても、これで十分だということはないのである。そしてまた、仏法のために使うのは、仏恩報謝にもなるのである。

2018 (平成30) 年 恩講・秋参り日程 (予定) のお知らせ

本年の恩講・秋参り(家庭報恩講)の日程についてお知らせします。恩講の期日が未定の地区(古賀西)は早目に日程の相談をお願いします。遠方(熊本市・益城町・御船町・宇城市、延岡市・日向市・宮崎市、高千穂町)と中入・大平、渡瀬、山都町の秋参りはハガキでお参りの日を連絡します。なお、葬儀が入りますと秋参りの日程は変更します。お茶の接待はご遠慮申し上げます。

■ 恩講		■ 秋参り	
11月	1日	11月	2日
	2日		
	6日		
	9日		
	10日		
	11日		
	12日		
	17日		
	18日		
	19日		
	20日		
	22日		
	23日		
	24日		
12月	4日	11月	12日